

第4回政府現地対策本部会議・第7回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月16日(土) 16:00～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

(別途気象台から報告)

2 被害の状況

死者27人(警察情報)。市町村からの報告では32人。

行方不明者6人。重傷者184人。軽傷者784人。

家屋被害について、全壊90棟。半壊145棟。一部破損630棟。

他県からの支援等については、資料のとおり。

東海大学農学部の高齢者については、海保ヘリにより要救助者を大分県の病院に搬送。

なお、避難者数については、阿蘇地域の市町村数は把握できていないということであり、本来の避難者数はもっと多い。

3 県等の対応状況

(総務部)

県庁の避難者数は480名程度。新館地下の食堂も開放。

県立大学は、1,400名程度。学生が炊き出しの対応実施。私立高校も受け入れ増。

(企画振興部)

JRは引き続き運転見合わせ。

(健康福祉部)

避難所への物資については、サントリーから水500ml10万本提供有。県パン共同組合からは3万個のパンを自衛隊の協力を得て発送。

水、食料については、内閣府の協力を得て順次対応中。

(環境生活部)

水道施設の被害状況について、本震以降に続く余震の影響でいろんな不具合が起きている。断水戸数37万3,600戸はほとんど変わっていない。

(商工観光労働部)

水約30万本確保。輸送については、トラック協会だけでなくヤマト運輸にも協力を得ている。災害協定以外で、ワコールさんから下着を1000枚単位で提供可能との申し出をいただいた。

(農林水産部)

大切畑ダムについて、自衛隊及び農水省の協力を得て排水ポンプの設置準備を進めている状況。

立野地区の大規模山腹崩壊だけでなく、南阿蘇の新所地区等でも土石流発生。

外輪山の山腹崩壊については山間部にとどまっており被害なし。

生乳廃棄については、早ければ明日にも乳業工場の受入れが一部復旧する見込み。

(土木部)

海上自衛隊の輸送艦と護衛艦が広島から来るとのことであり、八代港で受入れ調整中。道路交通止めについては、鋭意対応中ではあるものの、新しく判明しているため、増えている状況。

57号が通行止めのため、自衛隊、国交省の協力を得て道路啓開を行い、南阿蘇を通行するなごう回路を準備中。

(教育庁)

県立高校で避難者を受け入れているが、断水対応のため、プールの水を活用するなど対応実施中。トイレは足りなくなる可能性あり。

(県警本部)

本日午後関東及び中部からの応援あり。南阿蘇を中心に搜索活動実施中。これまで、おおよそ150名の方の救出を行っている。

4 国等の対応状況

(内閣府)

道路不通箇所等が多く、被害も甚大であるが、物資の供給には道路復旧が必要。関係者の復旧対応への協力をお願いする。

(消防庁)

死者数について、警察と市町村で違っており、災害対策本部としての数値とする必要があることから、後程、県、警察と調整させていただきたい。

消防ヘリで西原村小森地区で26名救出。南阿蘇村の方から計44名の方をヘリで救出。病院間搬送6件。別途鹿児島県ヘリ活動中。

(自衛隊)

14,100名を動員して救助活動等実施中。

(警察庁)

他県応援として、中国・近畿部隊の増員と中部・関東の部隊の新規派遣。自動車警ら部隊による防犯活動実施中。

(気象台)

天草及び阿蘇で最大風速20m/sという警報級の予想。

土砂警の基準を7割に引き下げたが、中小河川の洪水についても同様とした。堤防破損等があったため。

余震継続中。発生頻度は減っていない。

(国交省)

国道3号線の熊本市清水松崎の跨線橋の被害であるが、本日を目途に全面開放予定。

(海上保安本部)

航空機2機待機中で要請があれば対応する。三角港にて巡視船2隻による給水支援開始。

(九州運輸局)

旅客の緊急輸送について、バス、タクシーも活用可能だと思うので相談いただきたい。車検期間の延長も検討している。

(九州電力)

129,000戸の停電。(最新情報15時現在)

復旧見込みは立っていない。現在調整中。

5 政府現地対策本部長の発言

(松本副大臣)

国土地理院でまとめたデータは災害対策本部に提供して欲しい。

今日、熊本市長及び避難者と意見交換を行ってきた。避難者の方は、市町村がキチッと対応しているとの意見であった。皆さんの対応が評価されているものと思う。

一方で3日目の夜を迎えることとなる。皆さん方お疲れのことと思うが、正念場だという思いで頑張っていたきたい。

熊本市民病院に行ったが、すべての患者を別の病院に搬送できて、院長が安堵したとのこと。一部の施設で外来対応したいとのことであり、心のケア等の依頼をした。

熊本市役所では、100人くらいの人達が、水を待っていらっしやった。水が不足していることを実感した。

コンビニもほとんど閉まっており、開いていても物が全くない状態。コンビニの社会的責任から早急に再開するようにお願いしたい。

自宅の後片付けについては、高齢者だけでは対応できないのでボランティアの活用をお願いしたい。

6 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

一昨日14日の震度7に続いて、本日1時25分と3時55分に震度6強の地震が相次いで発生し、県内では、非常に大きな被害が発生している。

これまでの地震により、27名の方々の尊い人命が失われている。現在も、まだ行方不明であったり、道路等の寸断により集団で孤立状態にある方々もおられ、救出を待っている状況。

引き続き人命救助を最優先に、全力を尽くしていただきたい。

また、14日の地震発生から36時間以上が経過し、度重なる地震により、被災者の方々の不安はますます大きくなっていることと思う。被災者の支援にも全力を尽くしていただきたい。

また、大きな余震を警戒する必要がある。同時に、現在、大雨洪水などの注意報が発令されている。これまでになく地盤が緩んでいる状況にあり、県と気象台は土砂災害警戒情報を速やかに発表することとしている。

皆さんも出来るだけ早く避難所など近くの安全な場所へ避難して欲しい。

安倍首相の記者会見からも明らかなように、政府からも全面的な協力をいただくことになっている。

行政、民間、さらには国と地方の垣根を越えて一丸となってこの未曾有の危機を乗り越えたい。

(以 上)